

## 人と環境の調和を図る樹脂製造



### 昭和高分子株式会社龍野工場

所在地 たつの市揖保町揖保中251-1  
 代表者 中野 光法  
 TEL 0791-67-1111

#### ○創業は

当社は、総合樹脂メーカーとして、不飽和ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂・フェノール樹脂・生分解性樹脂・合成樹脂エマルジョンを製造しています。

龍野工場は昭和四十六年から操業を開始し、敷地面積九六〇〇〇㎡内に製造部門と製品開発を行なう研究所があります。

#### ○樹脂の特徴は

不飽和ポリエステル樹脂は軽量・高強度・耐腐食性の特徴があり、強化プラスチック(FRP)の原料となります。この樹脂にガラス繊維や炭酸カルシウムなどを混合させたシート状(BMC)のものやそれをシート状(SMC)にした熱硬化性樹脂は、金型プレスする際に収縮率がなく設計寸法どおり

に成形できる等、高い作業効率を発揮する点で多くの製造業者の方で使用されています。

ビニルエステル樹脂は、低温硬化性や光硬化特性に加えて、耐薬品性に優れているので化学工場での排煙ダクトや薬品タンクの製造原料として使用されています。

樹脂特性を活かした最終製品は、工業用品だけでなく電子機械部品、住宅用品・建材など身の回りのあらゆる部分にあります。

#### ○自然循環型製品は

生分解性樹脂があります。この樹脂はプラスチック素材でありながら、自然環境の中でバクテリアなどを介して水と炭酸ガスに分解します。農地で土壌に被せるフィルム材やボトル用品、梱包資材の製造原料として使用されています。これにより、従来の廃棄手間や焼却による二酸化炭素排出も無くなります。

#### ○これからは

SMC分野では、樹脂に混合する原料をガラス素材以外に炭素

(カーボン)素材の需要が高くなっています。炭素性素材は、高強度・軽量という特徴から自動車関連部品等にも使用され、車体の軽量化による二酸化炭素排出量軽減につながります。

また、有機溶剤などを含まず水を媒体として接着剤や粘着剤の原料となる合成樹脂エマルジョンを建材用塗料と組合せることで遮熱塗料ができました。アスファルトや工場の屋根などに塗布し、樹脂被膜で覆い、紫外線や熱を反射して蓄熱を防ぎ、ヒートアイランド現象対策になります。

これからも人と環境の調和を図り、環境負荷を低減させる商品開発を行なっていきます。



遮熱塗料を塗布された  
事務所入口前のアスファルト